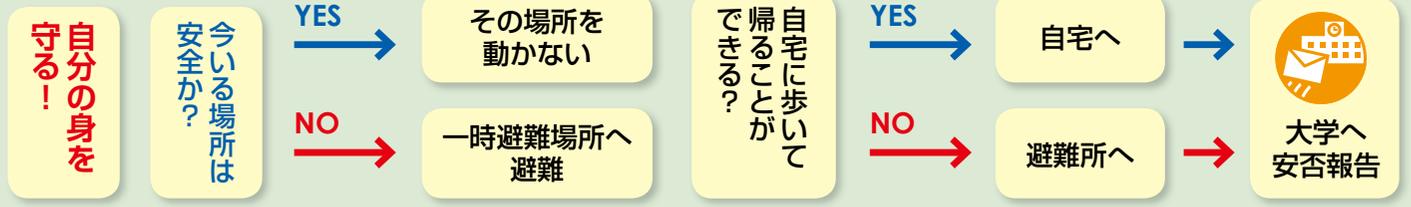


地震発生から避難まで



大学に居るとき

大きな地震が発生したら

- 冷静に落ち着いてまず身の安全を守る。
- 窓や棚、ガラスなど割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下などにもぐるか、バッグ・衣類などで頭を覆って落下物から頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドア付近にいる人はドアを開け、出口を確保する。
- 実験中など火気を使用しているときは身の安全を確認した上で火を消す。また薬品などから離れる。
- 広場やグラウンドなど、落下物のない場所にいる場合は、その場で揺れがおさまるのを待つ。

揺れがおさまったら

- 余震の可能性もあるので、あわてずに様子を見る。
- 周囲のものが倒れたり、落下するおそれがない場合はその場で待機する。危険と判断した場合は安全な場所へ移動する。
- 火災が発生している場合は、身の安全を確保し、まわりの協力を得て初期消火に努める。消火困難な場合は火から離れる。
- 負傷者がいる場合は、身の安全を確保し、まわりの協力を得て応急手当をし最寄りの事務室に連絡する。

避難する時のポイント

- 教職員や非常放送の指示に従って避難する。
- 避難の支障になる大きな荷物は置いていく。
- 火災が発生している場合は、煙を吸わないようタオルなどで口を覆う。
- エレベーターは使用せず階段で移動する。

大学構内の一時避難場所

避難場所は、広く、火災による延焼のおそれがないところが適しています。大学ではあらかじめ一時避難場所を定めていますが、地震時の状況等により、場合によっては安全な別の場所へ避難ください。

一時避難場所は裏面の平面図を参照

本学ホームページの災害に関する情報は、下のQRコードをスマートフォン等で読み込み、確認することができます。

QRコードが読み取れない場合は、
URL
<http://www.hokkyodai.ac.jp/intro/saigai.html>
を入力してください。



帰宅するか、大学に残るか？

- 帰宅する場合**
- 余震がおさまり落ち着いたら、帰宅するかどうかを検討する。 ※教職員は大学の指示に従う。
- 帰宅する目安は、大学から自宅が20km以内であるかどうかです。ただし、地震の規模、時刻、天候、自身の体調や体力によって臨機応変に対応する。
 - 帰宅時は、できる限り同じ方向の者と複数で行動する。
 - 帰宅後は速やかに大学へ安否報告する。

大学または最寄りの避難所に残る場合

- 交通機関が停止する、帰宅が深夜になる等、帰宅が困難となった場合は、大学内または最寄りの避難所を利用する。
- 校内への移動、宿泊場所については教職員の指示に従う。



通学・通勤中

- 被害状況を正しく把握する。
- 周囲の状況に注意し、身の安全確保を最優先とする。
- 倒れるおそれのある塀、電柱及び自動販売機などから離れ、また落下物に注意する。
- むやみに動かず安全を確保する。
- 避難中は警察や消防の指示に従う。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限にする。
- エレベーターは使用せず階段で避難する。
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動する。
- 負傷者の救護や初期消火に協力する。



津波からの回避

震度4以上の強い地震が発生した場合、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりと揺れを感じたときは津波が発生するおそれがあります。気象庁は、津波が起きるおそれがある場合、津波予報を発表します。津波予報には、津波の到達時刻、地域、予想される津波の高さなどが示され、警戒度によって「津波注意報」・「津波警報」・「大津波警報」に区分されます。

警報発令から避難まで

- 「津波注意報」が発令された場合は、その内容やその後の情報に注意を払うとともに、避難経路・避難場所を確認してください。

- 「津波警報」発令後は、安全確保のために直ちに高い建物の上階に避難してください。

津波が襲来してきたら

- まず我が身の安全を優先しましょう。自分がけがをしては避難出来ません。
- 浸水が始まったら、遠くへの避難はあきらめ建物のできるだけ高い所に上がってください。浸水中は、漂流物により転倒する危険が大きく、避難できなくなることがあります。



大学への連絡方法

大地震が発生した場合、大学は学生及び教職員の安否確認を行います。学生及び教職員が事前に登録したメールアドレスに対し、安否確認のメールを送信しますので、そのメールに返信してください。メール登録をしていない方は、下記の電話番号に電話で安否を報告してください。

学生

電話
札幌校 011 (778)0963
旭川校 0166 (59)1229
釧路校 0154 (44)3238
函館校 0138 (44)4221
岩見沢校 0126 (32)0443

報告事項

- ①氏名 ②所属校 ③学生番号
- ④今いる場所（自宅や避難場所の状況）
- ⑤けがの有無・程度
- ⑥その他

教職員

電話
札幌校 011 (778)0375
旭川校 0166 (59)1204
釧路校 0154 (44)3214
函館校 0138 (44)4204
岩見沢校 0126 (32)0433

報告事項

- ①氏名 ②所属部署
- ③今いる場所（自宅や避難場所の状況）
- ④けがの有無・程度
- ⑤その他

大地震が発生した場合、本学ホームページに必要な情報の提供と安否情報提供の呼びかけを行いますので本学のホームページに注意してください。